

まちづくりラボ・プロジェクトの拠点「ミントポ」の取組み

令和6年度（9月～）これまでの活動

ア 暮らしや地域活動のニーズに関する取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
ミントポ竹の塚 夕涼み祭り [R6.9.28] [R6.9.29]	<p>地域の出店希望者を含めたミニマルシェ(9店舗)や、ミントポによる駄菓子屋、クラシック演奏会、親子で楽しむ絵本読み聞かせ・相談会を実施した。</p> <p>祭りを通してまちのにぎわいの創出や、地域の人々との交流を促した。(2日間合計 約630名の来場者)</p> 
ミントポ竹の塚 マルシェ [R6.11.24] (区主催イベントと 同時開催)	<p>竹の塚を中心に活動する地域の出店希望者によるマルシェを開催(2店舗)。おにぎりの販売や、キッズアクセサリーワークショップなど、区の取組みと連携し、大人から子どもまで楽しめる内容を実施。</p> <p>出店者の発意により、12月より店舗前の敷地をレンタルブースとしての利用を開始。週に一回程度おにぎりや野菜のマルシェが行われており、日常のにぎわいある風景と地域とのふれあいが生まれている。</p> 
クリスマスライブ [R6.12.8]	<p>昨年に引き続き、駅前のイルミネーションの点灯に合わせてプロのクラシック音楽家による生演奏会を開催。(予約制、有料、30名以上の参加)</p> 

カフェスペースの
夜の場所貸し
[R6.9~]

ミントポ営業時間終了後にカフェスペースを場所貸しし、店舗開業を検討している人々に有償で機会を提供する取組み。9月、12月には「台湾喫茶」や、10月には農家さんが廃棄してしまう柑橘を味わう喫茶「旬喫」が実施された。

それぞれの主催者は今後も定期的な開催を希望しており、竹の塚エリアの新たなプレイヤーづくりと、夜の駅前ロータリーの賑わいに繋がっている。



企画展示
[R6.10.1~31]

カフェ常連客のイラストレーターによる個展を実施。店内への作品展示に加え、オリジナルグッズの販売や似顔絵イベントを行った。期間中、イラストとのコラボメニューも販売。

活動者のニーズを実現することで、自立と活動の幅を広げるとともにまちの活性化につなげていく。



地域商店との連携
[R6.11.17]

生花店との連携が発展し、季節に合わせたワークショップイベントを開催(予約制 10名参加)。今年2月の開催に続き2回目の開催となる。参加者と対話する時間を設け、地域住民とのつながりを深めている。



苗分けの日
[R6.11~]

「ミントポ菜園部」活動にて、まちや家庭に緑を増やす取り組みの一環として、ミントポで種から育てた植物の苗を地域と分け合う苗分けの日」を開催。

植物の特徴や育て方を共有し、成長の喜びを一緒に分かち合うなど、地域のコミュニティを育むきっかけとなっている。



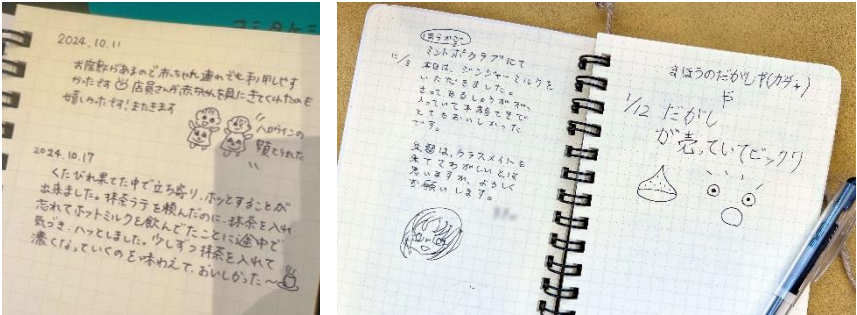
Cleanup &
Coffee Club
(CCC)[R7.2~]

地域の繋がりを育む取り組みを、毎月第二日曜日に開催。まちを主体的に綺麗にすることだけではなく、ゴミ拾いというアイスブレイクを通じて、地域の顔見知りやつながりを増やし、地域に一つのコミュニティや居場所に成長することを目指している。

初回は8名の参加があり、交流会ではゴミを拾いながら周辺を歩いて気づいたことや、地域活動の告知など様々な地域の話話を共有した。



イ 未来の竹の塚を考えるきっかけづくりの取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
<p>お客さまノート [R6.10~]</p>	<p>ミントポを訪れた方への意見や感想の収集及びまちの声を確認し、ミントポの活動やまちづくりへと活かしていく取組み。</p> 
<p>まほうの다가しや [R6.9~]</p>	<p>アイデアカードに複数寄せられた「まちに駄菓子屋さんがほしい」という声から、ミントポ店内に駄菓子コーナーを設置。小学生以下の子どもはミントポ内に設置されたガチャガチャを100円で回し、カプセルに入った100円以上の価値のある「子ども専用通貨」を使って、駄菓子やミントポの一部メニューを食べることができる。</p> <p>カフェの売上の一部と大人の寄付によって運営を行なう子ども食堂の役割も含んだ取組みであり、駄菓子屋を通じて大人が子どもを支え、地域で子育てをしていく循環型の仕組みの社会実験を兼ねている。</p> 